



社会福祉法人

熊本いのちの電話

KUMAMOTO INOCHINODENWA

通信 55号[事業報告] 平成28年7月



熊本地震への取り組み

社会福祉法人 熊本いのちの電話

理事長 福田 稔

熊本地震で被災された多くの方には、衷心よりお見舞いを申し上げます。また、「熊本いのちの電話」へ全国からお見舞いや激励のお言葉をいただきました。本当にありがとうございました。

熊本を震源地として2016年4月14日の前震、16日の本震から早二ヶ月が過ぎましたが、復興、再興の途上にあり、まだまだ不自由な生活をおくられている方々も多くおられます。心中如何ばかりかと思います。

私たち「熊本いのちの電話」も被災し、建物は大丈夫でしたが、屋内のものがひどく散乱し、悲惨な状況でした。動くことが可能な事務局スタッフ、相談員が駆けつけ、室内の整理、清掃、トイレの水の確保など、事務活動ができるまでに復帰しました。その後、相談員のみなさんの被災状況、安否確認などを行う中で、みなさんの生活を優先して電話相談活動を一時中止することを決めました。そして、5月24日午後3時から、対応可能な相談員の方々により電話相談活動を再開しました。その間、北九州センター、福岡センター、佐賀センター、鹿児島センターへ転送電話による協力をお願いし、各センターのみなさんのご協力により、相談電話をつなぐことができました。この紙面を借り、改めてお礼を申し上げます。ありがとうございました。

社会や生活のインフラは、関係諸機関、企業のご努力により、日々急ピッチで復旧が進んでいます。しかし、一方で物理的・精神的な喪失体験は、自分自身にとって大事なものの、対象を失い、多大な心の痛みを受けることで、大きなストレスを引き起こします。失った対象をどうすることもできないのは、人間の限界であり、人間の現実でもあります。大切なことは、その哀しみをめぐるさまざまな交錯する気持ちを自然な心によっていつも自分のものとして受け入れ、体験し、哀しむことができる能力を身につけることであるでしょう。みなさんが心の健康を取り戻す一助となれるよう、これからも私たち「熊本いのちの電話」は活動を続けて参ります。

この度、いのちの電話の九州内各センターの賛同とチャイルドフアンドジャパンの支援を得て、熊本県内で被災され、心的な痛みを抱えておられるみなさまへ向けて、フリーダイヤル「熊本地震いのちの電話」を7月1日から開始しました。（電話番号：0120-87-4343）

相談員の中には被災され、今も活動に参加できない方々もおられます。被災以前のような対応は厳しい状況ですが、少しずつゆっくと私たちも立ち直っていきたいと思っています。

通信55号 目次

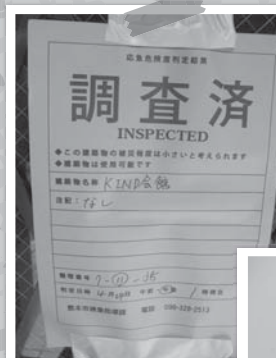
巻頭言	P1	2016年度事業計画	P9
トピックス	P2	2015年度感謝報告	P10
チャリティ公演報告	P3	認定式、認定者の声	P12
2015年電話相談状況	P4	説明会、開講式	P14
2015年度事業報告	P6	自殺白書	P15
2015年度決算報告	P8	役員名簿、事務局日誌、編集後記	巻末

相談電話 096・353・4343

最近のトピックス

熊本いのちの電話の被害状況

14日の前震と16日の本震の後、相談員の全員無事を確認。只、被災の程度は各々あり、暫く相談業務ができない方もあります。事務所内は書庫は転倒、書類は散乱、茶器は破損しましたが、電話やパソコン等の機器類は使用でき、建物も調査結果、立ち入り可で、5月24日から電話相談を復活しました。



建物の調査済み(緑)



倒壊した家具

熊本への相談電話を転送電話で救済！

被災した相談員が生活再建に専念できるように、熊本の相談受付を中止し、北九州、福岡、佐賀、鹿児島県のいのちの電話の協力を得て、転送することにしました。4月22日から5月24日までの約一カ月間で145件転送できました。

「熊本地震 いのちの電話」7月1日スタート



チャイルド・ファンド・ジャパンとの調印式

被災者がこれから様々な問題に直面するにつれ、心のケアが必要な方が増大すると予想されます。熊本県のいのちの電話では対応しきれないため、北九州、福岡、長崎、佐賀、鹿児島、沖縄のいのちの電話が協力して、熊本からの相談電話を受信する仕組みを作り、7月1日からスタートしました。通話料金が負担にならないようにフリーダイヤル方式で、その費用はチャイルド・ファンド・ジャパン様の支援により実現できました。

チャイルド・ファンド・ジャパンとは

第二次大戦後の日本の孤児を支援した米国の民間団体クリスチャン・チルドレン・ファンドが母体。日本が豊かになり、日本の組織が独立して、現在はフィリピン、ネパールなどアジアの子どもたちのために活躍されています。

チャリティ公演の変更

8月7日に予定していましたチャリティ公演は熊本地震により、市民会館が使用できなくなり、他の会場を借りることも困難なため、中止いたします。今後、会場の手配や出演者の見通しが立ち次第、企画したいと考えています。その時にはみなさまのご支援、ご協力をお願いいたします。

熊本いのちの電話との出会い



熊本県吟剣詩舞道総連盟
吟心流総本部

古庄 吟法



昨年、赤星事務局長より私どもの団体に”熊本いのちの電話チャリティ公演”に出演のお誘いを受けました。会員の賛同もあり、特に子どもたちが出演できることに意欲を示しましたので、喜んでお受けいたしました。熊本いのちの電話とのご縁は、一昨年10月に県舞劇場演劇ホールに於いて開催いたしました”未来につなぐ伝統芸道”「子ども吟剣詩舞道祭」であります。この大会は文化庁伝統文化親子教室事業として子どもたちによる初めて試みる舞台でありました。大会開催にあたり、子どもたちに社会貢献を考え、チャリティ支援をすることを決め、その支援先を思案中、熊日新聞の記事でご苦勞されていることを知り、少しでも子どもたちの舞台がお役に立てればと、早速、赤星事務局長に電話いたしました。大会当日は、熊本いのちの電話のみなさまにもご観覧いただきました。このご縁で熊本いのちの電話の活動内容や、相談員の方々のご苦勞を知ることができました。厚生労働省の発表によりますと、昨年の全国自殺者数は24,025名であり、この数年減少傾向にあるそうです。全国の相談員によるいのちを守ると言う熱意とご努力が貢献しているものと思います。自殺の主な原因は、健康問題や経済生活、家庭の問題が多いそうですが、人のいのちを守るために一本の電話を通じて相談を受け、悩む人に寄り添っていのちを守る使命感と高貴な志に頭が下がります。こんなにも人のいのちが軽いものかと思う事件が勃発している昨今、一方では熊本地震による家屋倒壊現場で救助活動をされている自衛隊や消防のみなさんの姿を見ていると、この温度差を考えさせられます。

今年は、久々に熊本城に仲間と花見に出かけました。桜と熊本城郭のコントラストの美を満喫したひとときでありました。その後の地震が陽春の美景をものの見事に破壊するとは想像だにできませんでした。あの春はどこに去ったのかと恨めしく、一変した熊本城の早い復元を願うばかりです。



平成27年(2015年)電話相談の状況

(熊本いのちの電話で2015年1月1日～12月31日で受信した集計結果です)

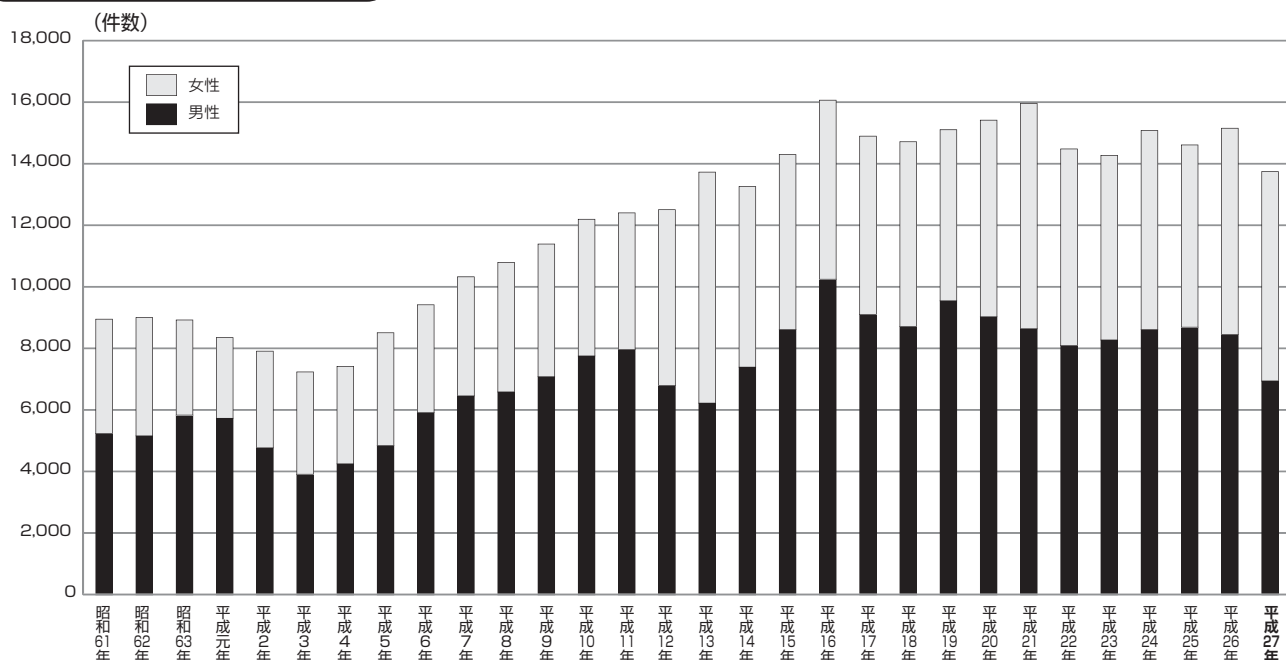
●平成27年の電話相談件数(前年対比)

平成27年の年間の総受信件数は13,724件で、前年より1,407件減少しました。女性からの件数は微増している一方、男性からの件数が大きく減少しています。自殺志向件数は対前年で増加していますが、総受信件数と同様に男性は減少、女性は増加しています。自殺志向率は前年より、男女ともに増加していますが、女性の自殺志向率が大きくなっています。男性と女性の対前年との傾向の違いが顕著であり、今後とも注目していきたいと考えています。

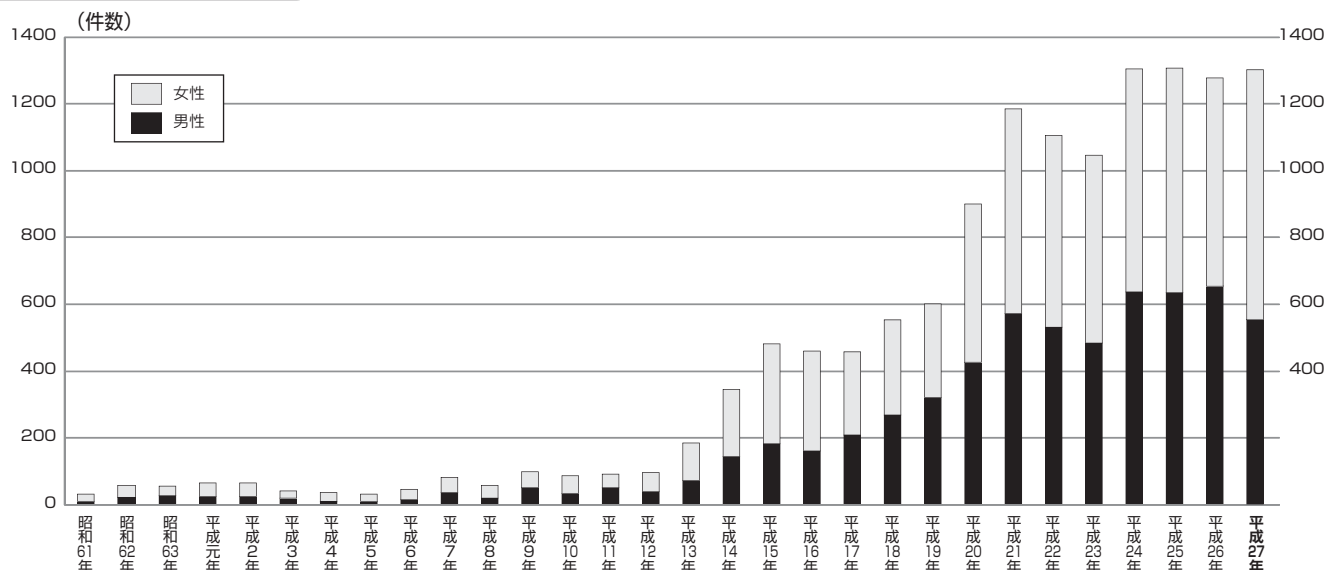
表1. 受信件数昨年対比

	総受信件数			自殺志向件数			自殺志向率(%)		
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
平成26年	8,455	6,676	15,131	656	622	1,278	7.76	9.32	8.44
平成27年	6,955	6,769	13,724	555	748	1,303	7.98	11.05	9.51

グラフ1. 電話相談受信件数の推移



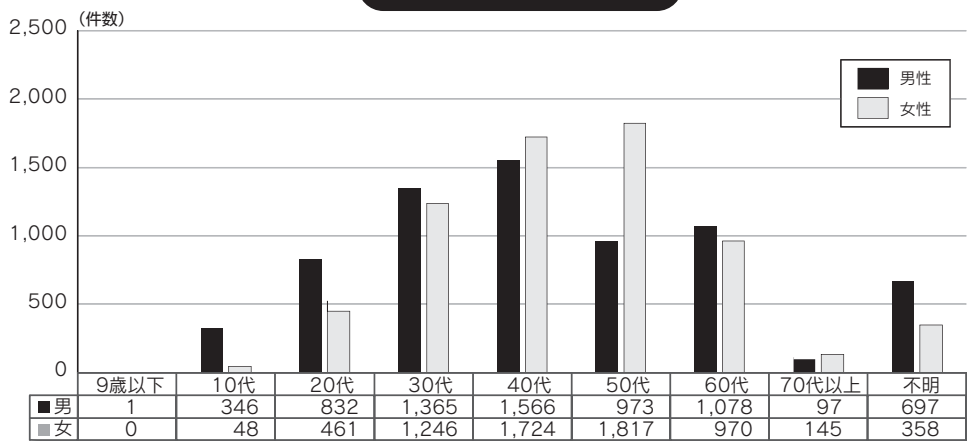
グラフ2. 自殺志向件数の推移



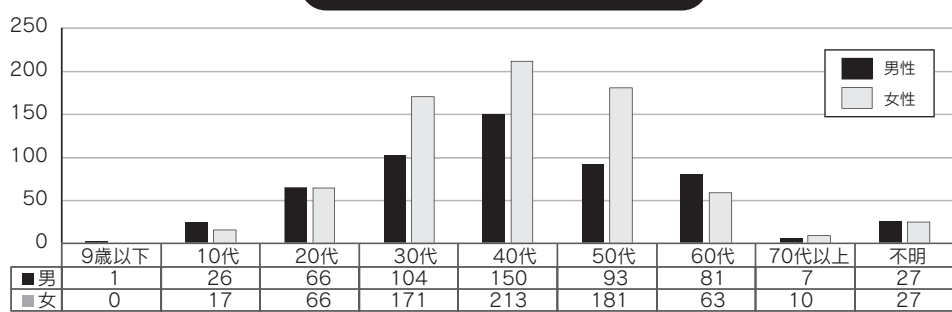
●平成27年電話相談の年代別相談件数と自殺志向相談件数

年代別の相談件数は男性は40代、女性は50代がピークを示しており、男女では年代別の傾向が少し異なる傾向にあります。ただし自殺志向相談件数は男女とも40代でピークを示しています。

グラフ3. 年代別相談件数



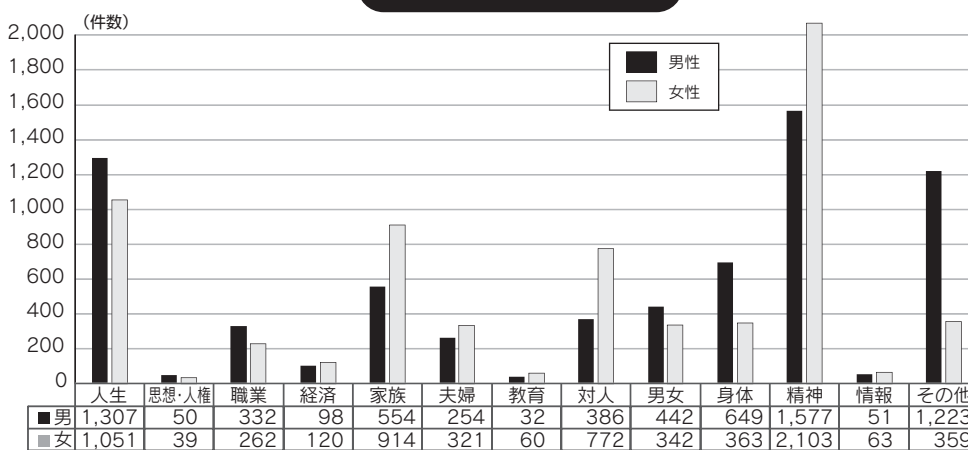
グラフ4. 年代別自殺志向相談件数



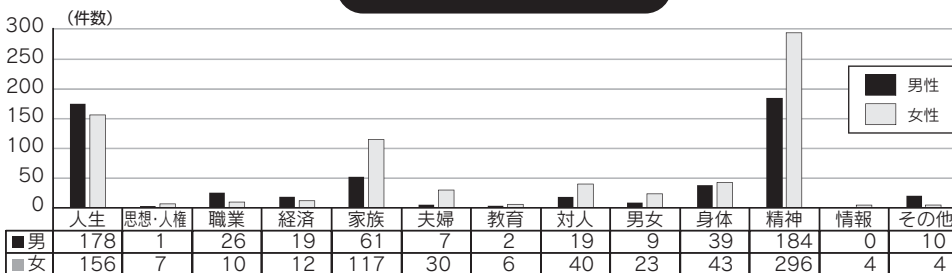
●平成27年電話相談の内容別件数と自殺志向件数

電話相談の内容別件数を見ると男性は精神、人生についての件数が多く、女性は精神、人生、家庭、対人についての件数が多くあります。自殺志向の件数は男女ともに精神、人生が突出しています。

グラフ5. 相談内容別件数



グラフ6. 自殺志向相談件数



社会福祉法人 熊本のいのちの電話

平成27年度(2015年度) 事業報告

1. 電話相談活動

(1) 熊本のいのちの電話

総受信件数 13,724件 延べ2,360名担当

* 詳細は前ページ「平成27年電話相談の状況」を参照

(2) フリーダイヤル自殺予防いのちの電話

毎月10日 午前8時～24時間 熊本で延べ138名担当



電話相談

2. 研修活動

(1) 第32期 電話相談員養成 基礎講座

場所 熊本YMCA中央センター

①開講式 平成27年5月12日

②前期（公開講座） 5月12日～ 9月15日 18回 26名

③後期（養成講座） 10月 6日～ 3月29日 23回 16名

④終了式 平成28年3月8日

(2) 第31期生2年目研修(スーパービジョン)

期間 平成27年4月～平成28年3月

人数 10名（男性1名・女性9名）

(3) 継続研修

全相談員対象 8研修班構成、月1回実施

(4) 全体研修

①平成27年6月21日 熊本県総合福祉センター 87名出席

テーマ：「当事者の話を聴く～統合失調症～」

講師：木村良子研修委員・当事者

②平成27年10月12日 くまもと森都心プラザホール 86名出席

テーマ：「いのちを守る言葉の力」

講師：葉 祥明氏

③平成27年11月22日 熊本県婦人会館

テーマ：「当事者の話を聴く～うつ～」

講師：平川泰士研修委員・当事者

(5) 第40回日本自殺予防シンポジウムへの参加

平成27年9月13日 青森県立保健大学

(6) 第33回いのちの電話相談員全国研修会へ参加

平成27年10月16日～18日 「かごしま大会」

テーマ：「今ここに、あなたと共に生きる」

(7) 第6期研修リーダー養成講座

平成27年5月～28年2月 講座32時間 実地研修18時間

認定者4名



役員会



開局30年記念会



ボランティア週間バザー

3. 公開事業・啓発活動

(1) チャリティ公演

平成27年8月30日 崇城大学市民ホール
「輝け！伝統文化こども祭」700名
いのちの電話広報DVDも同時放映

(2) 開局30周年記念事業

① 記念講演会

厚生労働省補助事業 くまもと森都心プラザホール
平成27年10月12日 250名
講師：葉 祥明氏 童話作家
テーマ：「いのちを守る言葉の力」

② 祝賀会 ホテルニューオータニ熊本

③ 記念誌の作成

(3) ボランティア週間バザー

平成27年11月21日 サンロード新市街

(4) YMCA主催チャリティゴルフ大会

高遊原ゴルフ場

大村理事のお世話により開催

(5) 部外広報誌「熊本いのちの電話・通信」を発行

7月、1月、4月 各1,000部発行

(6) 内部広報誌「りんりん」の発行

5月、9月、1月発行



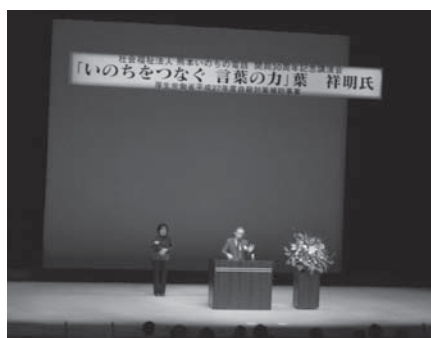
養成講座一泊研修



開局30周年記念式典



TVで公開講演会のPR



公開講演会



第32期養成講座修了式

4. 運営活動

(1) 開局30年記念会 & 第30期電話相談員認定式

平成27年6月21日 熊本県総合福祉センター

① 表彰 貢献賞 22名

500時間達成 22名、1000時間達成 3名

1500時間達成 5名、2000時間達成 2名

2500時間達成 2名

相談員活動勤続10年 4名

相談員活動勤続20年 1名

相談員活動勤続30年 3名

② 認定 第30期生認定者 23名

(2) 相談員の更新認定

平成27年4月13日 更新判定会開催

更新認定者 91名

5. 各種会議

(1) 理事・評議員会

平成27年5月29日 平成26年度事業報告、決算報告審議

平成28年3月28日 平成28年度事業計画、予算案審議

(2) 日本いのちの電話連盟 定時社員総会

平成27年6月4日 飯田橋レインボー会館

(3) いのちの電話 全国事務局長会議

平成27年7月5日～7月7日 東京ガーデンパレス

(4) 熊本県自殺対策連絡協議会

平成28年2月15日 熊本テルサ

(5) 熊本市自殺対策連絡協議会

平成28年3月10日 ウェルパル

(6) 日本いのちの電話 九州ブロック関連

平成27年6月27日 九州地区事務局担当者会議 北九州

平成27年6月28日 九州地区研修担当者会議 北九州

表1 資金収支計算書(要約)

(自平成27年4月1日 至平成28年3月31日)

(単位:円)			
勘定科目	予算	決算	差異
事業活動による収支			
事業活動収入	7,334,000	10,733,870	△3,399,870
事業活動支出	7,334,000	10,040,194	△2,706,194
事業活動資金収支差額	0	693,676	△693,676
設備整備等による収支			
設備整備等収入	0	0	0
設備整備等支出	0	0	0
設備整備等資金収支差額	0	0	0
その他の活動による収支			
その他の活動収入	0	0	0
その他の活動支出	0	2,137,432	△2,137,432
その他の活動資金収支差額	0	△2,137,432	2,137,432
予備費支出	0	0	0
当期資金収支差額合計	0	△1,443,756	1,443,756
前期末支払資金残高	14,457,677	14,457,677	0
当期末支払資金残高	14,457,677	13,013,921	1,443,756

表2 事業活動計算書(決算および予算書)

27年度決算 (自)平成27年4月1日 (至)平成28年3月31日
28年度予算 (自)平成28年4月1日 (至)平成29年3月31日

(単位:円)			
勘定科目		27年度決算	28年度予算
サービス活動増減の部			
収益	維持会費収益	2,509,076	2,400,000
	賛助会費収益	2,030,500	1,500,000
	講習受講料収益	810,000	980,000
	事業収益	1,944,899	2,100,000
	共同募金会収益	150,000	150,000
	善意銀行収益	40,000	40,000
	補助金収益	2,907,000	800,000
	雑収益	337,406	210,000
サービス活動収益計		10,728,881	8,180,000
費用	人件費	3,139,071	3,216,000
	事業費	3,033,482	1,911,000
	事務費	3,867,641	2,465,521
	減価償却費	1,730,663	1,349,121
	設備整備等特別積立金取崩額	△991,467	△757,142
	サービス活動費用計	10,779,390	8,184,500
サービス活動増減差額		△50,509	△4,500
サービス活動外増減の部			
収益	受取利息配当金収益	4,989	4,500
費用	支払利息	0	0
サービス活動外増減差額		4,989	4,500
経常増減差額		△45,520	0
特別増減の部			
収益	設備整備等補助金収益	0	0
費用	設備整備等特別積立金積立額	0	0
特別増減差額		0	0
当期活動増減差額		△45,520	5,000
繰越活動増減差額の部			
前期繰越活動増減差額		15,877,797	15,832,277
当期末繰越活動増減差額		15,832,277	15,832,277
基本金取崩額		0	0
次期繰越活動増減差額		15,832,277	15,832,277

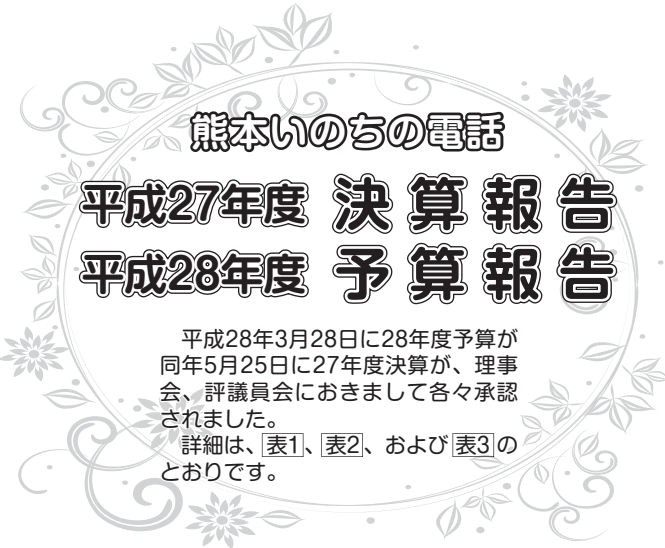


表3 貸借対照表

平成28年3月31日現在

(単位:円)			
資産の部			
	当年度末	前年度末	増減
流動資産	13,948,320	14,816,721	△868,401
現金・預金	13,772,110	14,600,008	△827,898
有価証券	0	6,603	△6,603
立替金	49,460	0	49,460
貯蔵品	0	80,603	△80,603
前払費用	35,100	36,900	△1,800
仮払金	91,650	99,210	△7,560
固定資産	34,639,585	34,232,816	406,769
基本財産	23,532,000	24,169,432	△637,432
土地	7,000,000	7,000,000	0
建物	15,532,000	16,169,432	△637,432
基本財産特定預金	1,000,000	1,000,000	0
その他の固定資産	11,107,585	10,063,384	1,044,201
器具備品	2,051,810	3,063,141	△1,011,331
ソフトウェア	47,775	129,675	△81,900
敷金	40,000	40,000	0
建物減価償却引当特定預金	6,468,000	5,830,568	637,432
減価償却引当特定預金	2,500,000	1,000,000	1,500,000
資産の部合計	48,587,905	49,049,537	△461,632

(単位:円)			
負債の部			
	当年度末	前年度末	増減
流動負債	934,399	365,647	567,752
未払金	820,183	307,472	512,711
預り金	24,216	4,175	20,041
前受金	90,000	54,000	36,000
固定負債	0	0	0
負債の部合計	934,399	365,647	568,752
純資産の部			
基本金	30,000,000	30,000,000	0
設備整備等特別積立金	1,821,229	2,812,696	△991,467
次期繰越活動増減差額	15,832,277	15,877,797	△45,520
(うち当期活動増減差額)	(△45,520)	(2,826,389)	(△2,871,909)
純資産の部合計	47,653,506	48,690,493	△1,036,987
負債及び純資産の部合計	48,587,905	49,056,140	△468,235

《脚注》減価償却費の累計額 10,487,815円

社会福祉法人 熊本いのちの電話

平成28年度(2016年度)事業計画

事業方針

1. 電話相談員体制の充実拡大

- (1) 養成講座募集活動の強化 (2) 24時間相談体制の充実
- (3) 電話相談員の研修体制の充実 (4) 電話相談員150名体制の確立

2. 財政基盤の強化 (1) 資金サポート会員の拡大 (2) チャリティ事業の充実

3. 広報活動の展開 (1) マスメディア・自治体への積極的な広報依頼 (2) 内部・外部向け広報の充実

1. 電話相談活動

(1) 熊本いのちの電話

365日24時間 2人受信体制

(2) フリーダイヤル自殺予防いのちの電話

毎月10日 午前8時～24時間

2. 研修活動

(1) 第33期 電話相談員養成 基礎講座

場所 熊本YMCA中央センター

①開講式 平成28年5月10日

②前期(公開講座) 5月10日～9月13日 18回

③後期(養成講座) 10月4日～3月21日 23回

④修了式 平成29年2月28日

(2) 第32期生研修(スーパービジョン)

期間 平成28年4月～平成29年3月

人数 15名(男性5名・女性10名)

(3) 継続研修

全相談員対象 8研修班構成、月1回実施

(4) 全体研修

①平成28年6月19日

熊本県総合福祉センター 講師 福山清蔵氏

②平成28年11月20日

熊本県婦人会館 講師 研修委員

(5) 第41回自殺予防シンポジウム

平成28年5月21日 東京

(6) 第34回いのちの電話相談員全国研修会

平成28年9月15日～17日 「なら大会」

3. 公開事業・啓発活動

(1) チャリティ公演

平成28年8月7日(日) 崇城大学市民ホール

監修/中村花誠 出演/ザ・わらべ他

(2) 自殺予防いのちの電話公開講演会

平成29年2月26日

講師 菊池省三氏(教育実践研究家)

(3) ボランティア週間バザー

平成28年11月開催予定 辛島町広場

(4) YMCA主催チャリティゴルフ大会

(5) 部外広報誌「熊本いのちの電話・通信」を発行

年間3回発行予定(4月、7月、1月)

(6) 内部広報誌「りんりん」の発行

年間3回発行予定(5月、9月、1月)

4. 運営活動

(1) 開局31年記念会&第31期電話相談員認定式

平成28年6月19日 熊本県総合福祉センター

(2) 相談員の更新認定 平成29年3月

(3) 第34期養成講座募集 平成29年3月～4月

(4) 資金サポート会員 古本寄付、募金式自販機の拡大

黄色レシートキャンペーン

5. 各種会議

(1) 理事・評議員会

平成28年5月25日 平成27年度報告

平成29年3月下旬 平成29年度計画

(2) 日本いのちの電話連盟総会

平成28年5月27日 岡山

(3) 全国事務局長会議

平成28年5月28日 岡山

(4) 九州地区いのちの電話ワークショップ

平成28年7月16日～17日 佐賀



熊本のいのちの電話 感謝報告

ご支援をいただきありがとうございました。

1.平成27年度 ご寄付をお寄せくださった方々

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(1)法人・団体の部

(敬称略・順不同)

(医)愛育会 福田病院 福田 稠 青山法律事務所 青山 定聖 (医)朝日野会 朝日野総合病院 アー・リソース株式会社 井上 聖也 阿蘇製薬株式会社 歩み法律事務所 松村 尚美 出田法律事務所 出田 孝一 出田実業株式会社 出田敬太郎 (株)岩永組 岩永 一宏 インマヌエル熊本キリスト教会 (株)魚国総本社 九州支社 田所 伸浩 (株)うしじま酒店 牛嶋 崇 N T T西日本 熊本支店 上山 圭司 (株)NTF 寺地 弘幸 (名)大橋時計店 大橋 善治 緒方消化器内科 緒方 一朗 おとのわmusic 藤川 潤司 おむすび太郎 高口 恵子 (株)亀井ランチ 亀井 明德 北里綜合法律事務所 北里美知子 (株)木村 木村 光男 九州通信産業株式会社 成松 眞 九州電機工業株式会社 福岡 邦博 九州ネクスト株式会社 柿田 泰宣	熊本医療ガス(株) 白瀬貴美子 熊本学園大学 総務課 熊本学園大学 幸田 亮一 (社福)熊本県共同募金会 荒木 泰臣 熊本市キリスト教連合婦人会 (宗)熊本城稲荷神社 本田 光曠 公益社団法人 熊本善意銀行 熊本第一信用金庫 豊住 賢一 熊本第一信用金庫 熊本パレエ研究所 伴 征子 熊本保健科学大学 (株)熊本ホテルキャッスル 斎藤 隆士 熊本ロータリークラブ 熊本YMCA 岡 成也 熊本YWCA 香覚寺 小山 一行 (医)孔子会 豊田 大徳 (有)高翔 高口 裕之 (株)コスギ不動産 小杉 康之 光尊寺 齊藤 眞 (株)小竹組 大堂 正人 (有)コムヨシモト 吉本 寛治 (株)雇用促進事業会 島田 俊郎 さいが綜合法律事務所 雑賀 庸泰 (株)佐竹 佐竹 信彦 三陽(株) 木下 修	添島歯科医院 添島 義樹 (社福)泗水福祉会 泗水苑 斎藤 禎子 (株)システムニシツウ 門岡 慎治 (株)シスニック 古沢 輝幸 (株)SYSKEN 福元 秀典 (医)至福会 添島 義樹 医療法人社団寿量会 熊本機能病院 米満弘一郎 城野印刷所 城野 敏 新産住拓(株) 小山 英文 西部電気工業株式会社 宮川 一巳 セベ産科用品(株) 坪田 隆二 (弁)大知 田中法律事務所 田中 俊夫 (株)竹内工務店 竹内 義雄 竹下清税理士事務所 竹下 清 (株)たしろ住設 田代 貴久 千歳公認会計士事務所 千歳 睦男 (株)鶴屋百貨店 久我 彰登 (株)TMプランニング 松尾 俊昭 東京エレクトロン九州(株) 総務部 遠山歯科医院 遠山 啓介 中村孝彦税理士事務所 中村 孝彦 日本基督教団 熊本草場町教会 日本福音ルーテル 室園教会 女性会	西田総合保険有限公司 西田 至 日本基督教団 錦ヶ丘教会 川島 直道 (医)野尻会 熊本泌尿器科病院 野尻 明弘 (株)肥後銀行 甲斐 隆博 日隈眼科医院 日隈陸太郎 不二高圧コンクリート(株) 岸川健太郎 仏厳寺 高千穂哲也・圭子 (株)古荘本店 古荘 善啓 法光寺 沖田 芳惇 (医)松橋愛育会 まつばレディースクリニック 村本 順一 (株)マルタ號 山田 哲大 (株)ミスターリースリー 小野塚 博 (株)みどりや 東 静一 宮川輝之法律事務所 宮川 輝之 (株)三宅保険綜合企画 三宅 満 明正電設株式会社 安原 茂行 メガネの大宝堂 布田 昭 森本法律事務所 森本 耕司 (株)山内本店 山内 卓 由井法律事務所 由井 照二 ゆうかり調剤薬局 高井 正照 YMCAチャリティゴルフ会
--	---	--	---

(2)個人の部

(敬称略・順不同)

青木 悟 青木 孝子 赤星 敦 新 圭子 荒木 孝憲 石川ユミ子 伊久美寛志 池田 菖子 市野 和恵 稲尾 貞臣 井上 新 井上 陽介 猪本 耀子 今村真佐子 岩崎三千恵	岩永 道子 上田 昭八 上原 仁朗 上村みどり 江崎 啓子 江藤 良純 悦 正治 大井 和美 大野 亮三 大平 啓二 緒方 喜六 岡本 洋子 小野寺徳雄 岡田 洋一 大我 京子	小笠原嘉祐 小田部久美子 小嶺 正子 大洞 一成 加塩 弘己 片桐 清志 金子 義勝 河本 暁美 菅 博明 木下 康 清永サチ子 久佐賀真理 小出 伸介 小出 史 鴻江友紀子	郡山 和代 小佐井久美子 小澄 康彦 児玉 幸子 後藤 秀昭 後藤加奈子 坂村 哲子 佐々木洋子 櫻井 孝一 澤村美智子 清水 善郎 進藤 俊次 田浦 記子 高杉ノリ子 武田 哲夫	田尻 和子 田代 妙子 立山 明子 田中 征夫 俵 恭子 THE HAND 角田 俊治 土井口哲子 中田千枝子 中村久美子 中村 花誠 中村 静代 中野慎一郎 中村 哲彦 中村 直美	中村富貴子 中山 維子 長家 重美 長倉 瑛子 西井くに子 野田 馨 野村富美子 芳賀 克己 濱田 宏子 原園 祐子 原田 敬子 原村 憲司 羽江 忠彦 葉山 武志 原 史章	久野 啓介 平井誠一郎 開 由美子 廣石 妙子 広瀬美貴子 福田 秀雄 藤井 輝彰 藤本 伸哉 古荘 信次 古荘 紀代 堀 浩善 本田 節子 前田 幸子 前田 充彦 牧 勝美	牧 睦美 益田 典子 松本千鶴子 松山 喬光 水谷 幸子 三井 良子 宮崎 文 宮崎健三郎 宮崎美緒子 宮崎 房子 宮本 進夫 村上 輝代 村田 晃一 村山 伸樹 村山 直美	持永瑞恵・摩子 元田 克秋 森崎賀久子 森村 陽子 山内 一郎 山内 武 山道キヨノ 山村 唯夫 山本 了 吉田 迪子 吉永 圭子 米倉 容子 米満 宏 笠 和美 匿名3名
---	--	---	--	---	---	---	---	--

その他、切手、お茶、コーヒー、お菓子等のご提供がありました。また、バザー用品のご提供もたくさんありました。心から感謝いたします。

2.募金式自動販売機設置にご協力いただいている方々

(敬称略・順不同)

愛育会 福田病院 菊陽レディースクリニック (株)九電工	九州電機工業(株) 九州ルーテル学院大学 寿量会 熊本機能病院	孔子の里 金剛(株) (株)SYSKEN	(株)建吉組 寺尾会 寺尾病院 中村整形外科
------------------------------------	---------------------------------------	----------------------------	------------------------------

3.チャリティ公演ご支援(広告)団体

(敬称略・順不同)

(医)愛育会 福田病院 (株)アドファータ 荒木商店 一ら久 (株)入江タクシー (株)魚国総本社 九州支社 NTT西日本 熊本支店 (株)エービーシー (株)大谷楽器店 大村 豊 法律事務所 尾田胃腸内科・内科 介護老人保健施設 おおつかの郷 (財)化学及血清療法研究所 (株)カトー 菊池グラントホテル (医)菊陽会 菊陽レディースクリニック (株)木村 九州学院 九州ルーテル学院 九州通信産業株式会社 九州ツバメタオール株式会社 熊本朝日放送株式会社	熊本医療ガス株式会社 (株)熊本エステートサービス 熊本学園大学 熊本電気鉄道株式会社 熊本第一信用金庫 熊本トヨタ自動車株式会社 (株)熊本日日新聞 熊本保健科学大学 (株)熊本マタニティサービス 熊本マリスト学園中学校・高等学校 熊本YMCA (医)孔子会 孔子の里 (株)香梅 (株)コスギ不動産 子育て支援ワーカーズ ペペペぱらん (株)雇用促進事業会 金剛株式会社 (社)済生会熊本病院 三陽株式会社 (株)紙弘 (株)SYSKEN 食彩処 僚華	新産住拓株式会社 (医)寿量会 熊本機能病院 瑞鷹株式会社 セレクトショップ 日子 添島歯科医院 (有)園村タタミ工業 (医)ソフィアレディースクリニック水道町 大熊本証券 高遊原カントリークラブ (株)たしろ住設 (株)建吉組 田中耳鼻咽喉科 ちゃんこ料理 やつこ (株)テレビ熊本 (株)TMプランニング (株)TKUヒューマン 特別養護老人ホーム 泗水苑 時計の大橋 (株)トウヤ 中村税務会計事務所 日和流 日本和装協会 (医)野尻会 熊本泌尿器科病院	(有)ハリマエンジニアリング 肥後銀行 紺屋町支店 ビューテック九州株式会社 (医)ピネル会 ピネル記念病院 (株)ベネッセコーポレーション (医)松橋愛育会 まつばレディースクリニック 松尾建設株式会社 松本外科内科医院 (有)都環境開発サービスセンター Mr.カンカン (株)ミスターリースリー 南日本酪農協同株式会社 (株)三宅保険総合企画 メガネの大宝堂 (株)山内本店 山下医科器械(株) 熊本支店 ゆうかり調剤薬局 スーパーマーケット よかもんね! ワタキューセイモア株式会社
--	---	---	--

4.平成28年4月1日～6月15日 ご寄付をお寄せくださった方々

(1)法人・団体の部

(敬称略・順不同)

誠光寺 仏厳寺 竹下清税理士事務所 (株)小竹組 熊本バレエ研究所	島村 純孝 高千穂哲也・圭子 竹下 清 大堂 正人 伴 征子	光尊寺 出田実業株式会社 (株)三宅保険総合企画 (株)うしじま酒店 (社)福)泗水福祉会	齊藤 真 出田敬太郎 三宅 満 牛嶋 崇 斎藤 禎子	熊本第一信用金庫 熊本医療ガス(株) 三陽(株) ゆうかり調剤薬局 (弁)大知 田中法律事務所	白瀬貴美子 木下 修 高井 正照 田中 俊夫	(医)至福会 医療法人社団寿量会 青山法律事務所 (株)高喜工業 (株)古荘本店	添島 義樹 熊本機能病院 米満弘一郎 青山 定聖 古荘 善啓
---	--	---	--	---	---------------------------------	--	--

(2)個人の部

(敬称略・順不同)

新 圭子 伊久美寛志 市野 和恵 稲尾 貞臣 井上 陽介 猪本 耀子	今村真佐子 岩崎三千恵 悦 正治 大井 和美 大我 京子 小笠原嘉祐	小田部久美子 加塩 弘己 河北 敏夫 菅 博明 清永サチ子 久保 理莖	郡山 和代 小路島正臣 小澄 康彦 澤村美智子 鈴木 和代 高木 容子	田中 征夫 葉山 武志 原 史章 原園 祐子 原村 憲司 開 由美子	広瀬美貴子 福田 秀雄 福山 清蔵 藤井 輝彰 藤本 伸哉 藤本 孝義	古荘 信次 堀 浩善 前田 幸子 前田 充彦 牧 勝美 牧 睦美	松下 家隆 宮崎美緒子 宮本 進夫 持永 元田 克秋 森崎賀久子	山内 稔 ヤマサキヨシノリ 山本 了 吉田 迪子 笠 和夫 匿名4名
---	---	--	--	---	--	---	---	---

5.古本寄付にご協力いただいた方々

(平成28年1月～6月15日)

団体・個人

(敬称略・順不同)

青木 孝子 青木 知子 内山 茂昭 内田 妙子	大野美穂子 大村 豊 小山 和代 川村 華織	熊本トヨタ自動車株式会社 坂本真奈美 柴崎 憩治 竹下 星子	橘 宏明 都甲 宏子 西 亮至 根本 善美	開 由美子 福井美智代 藤田 侑子 満崎 知江	森 正臣 ランベール
----------------------------------	---------------------------------	---	--------------------------------	----------------------------------	---------------

お買い物するだけでKINDへ寄付になるおいしいお願い。

毎月11日、イオン熊本中央店(大江)、マックスバリュート田崎店のレシートは黄色です。このレシートを売場近くにある熊本のいのちの電話と表示してあるボックスに入れると、レシートの金額の1%が寄付金としていただけます。毎月11日はレシートでばっちり。

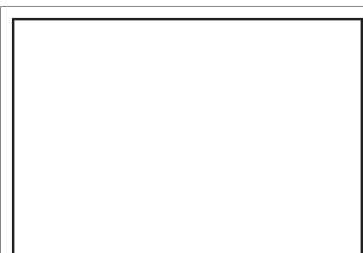
(注意 同じイオンのお店でも他店ではKINDへの寄付にはなりません。)



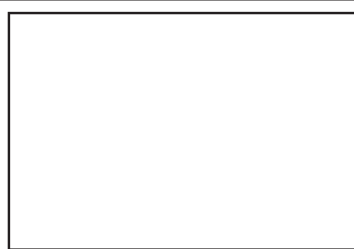
第31回開局記念会 及び 第31期電話相談員認定式

平成28年6月19日(日)熊本市総合福祉センターに於いて「熊本のいのちの電話開局31年記念会及び第31期電話相談員認定式」が執り行われ、90名の相談員が出席しました。記念会では、福田理事長から、認定者へのお祝いや表彰者への労りと共に「開局31年を迎えられるのは相談員の皆様の努力賜でありこれからの活躍に期待したい。また、熊本地震から2ヶ月、これから心のケアが必要になってくる。「熊本地震いのちの電話」フリーダイヤルを大いに利用し1人でも多くの方を支えて下さい。」と激励の言葉がありました。また、表彰式では時間達成(500時間6名、1000時間4名、1500時間1名、2000時間1名)、勤続(10年4名、20年が2名)の皆さんに、感謝状が手渡されました。

認定式では、理事長より31期6名に電話相談員認定証が手渡され、期を代表してK氏より「まだまだ不安はありますが、掛け手のことを思い傾聴、受容、共感の基本を大切に、これからも聴き続けて行きます。」と決意を述べられました。相談員会会長より「これから多くの苦労が待ち構えているかもしれませんが、周りのメンバーが支えますので、安心して活動して下さい。」と応援のメッセージが贈られた。



福田理事長の挨拶



認定証授与



開講式風景

認定を祝う会

認定会場の入り口は、彩り鮮やかな花々と、華やいた笑い声とに包まれ、「祝う会」担当、30期生の「祝う気満々」のエネルギーに包まれていました。今年は6名の新相談員を迎え、テーブルには、枇杷の葉っぱに可愛い青虫(紙粘土?)が顔を出し、テーブル番号を示すという凝りようで、喜ばせてくれました。出し物とは言う、赤と緑の帽子をかぶった5名が「あおむしくん♪♫」のメロディにのって1年間の自分の成長ぶりを趣向を凝らして発表。最後は先輩相談員のアーチをくぐり、沢山のエールをもらい、気持ちも新たに…という表情に頼もしさを感じました。



認定式

全体研修

開局記念会の日の午後、熊本のいのちの電話「震災電話」研修会が、福山清蔵先生(東京いのちの電話研修委員)を講師にお招きして開催されました。

同じ被災者同士の対話の持つ力は同質経験による、共感力、想像力によって同士の信頼関係が生まれる。理解してもらえているという感覚から親愛が生まれる。十分に悲しむこと、悲しみに浸ることを援助する。また、経験の有無、優劣、軽重を比較するなど、自分の経験にてらして、自分のことに目を奪われる。という落とし穴にも陥る。福山先生は「落とし穴を気にせず、自分の力を信じ、同じ共通の経験を力にかけて」と話され、最後に「私の場合はね…」とならないように「あなたは…」と聴く。と締めくくられた。

今回は九州ブロックから12名「熊本地震いのちの電話」フリーダイヤルの協力のために、大雨洪水注意報が出る中研修に参加して頂きました。

仲間の支えの力強さに感謝!!



全体研修

相談員総会

平成28年度電話相談員総会が開催され、議長は出席80名、委任状12名で会員総数2分の1以上の出席を確認、総会の成立を宣言した。

会長から、27年度の活動報告があり、「電話をつなぐ」「時間をつなぐ」「心をつなぐ」など「つなぐ」という使命を果たすために相談員会では「支え合う」を基本理念において活動してきた。また、相談員会会則の見直しも実現し、平成28年度は「心の交流・支え合いの深化(進化)」を活動の目標、方針とすると報告した。

いのちの電話の相談員になって

Aさん (31期生)

2年間の研修を終え、認定を受けられることに、まだ正直実感がわきません。自分の心の中にしこりを残したまま、相談員としてやっていけるのだろうか…。そんな思いを繰り返しながら、2年間の研修をやり遂げました。

相談者との会話の中で怒られたり、怒鳴られたり、自分の中でどのように受け止めたらいいのだろう…。相談者に不愉快な思いをさせて電話を切ることに……。そういうことを繰り返す中で思ったことがありました。

掛け手の抱えている問題と同じ経験をしている自分が有り、相談者の心に寄り添っていないということ。そう気づいたのも「いのちの電話」に携わり、2年間の研修のお陰だと思っています。誰かの為に何かをしたい、役に立ちたいという思いが、いつの間にか、自分の為、本当の自分の心を知ることになり、反省することばかりです。ある時の先生の話の中で「いのちの電話」と出会う時期がある、と…。その通りだと思いました。

諸事情で活動をお休みすることになりましたが、身近な人の支えとなり、寄り添っていかねばならない人たちの為に力を注ぎたいと思っています。何を優先させるべきかを気づかせてくれたのも「いのちの電話」で学んだお陰です。

また、いのちの電話の相談員として活動できる時期がくると信じています。

今は感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

Bさん (31期生)

私は兄の自死によって「いのちの電話」があることを知りました。生前に知っていたら「電話をかけてみたら…」と声をかけることもできたのに、と、今となっては悔やまれます。

養成講座を受け始めた頃は、兄の死を同期の人に話すのにとっても悲しい気持ちでしたが、講義の先生や事務職員の方に助けられ落ち着くことができました。何よりも相談員として仲間ができたのが私の財産になりました。

研修生になってからは、座学やロールプレイで行ったことを参考に、かけての気持ちに寄り添うことを心がけましたが、緊張してどんな言葉で返したのかも覚えていない状態でした。リピート、相槌、感情の反映、共感、受容、等会話の中しなければならぬと気負っていたと思います。

言葉が聞き取れないときは「もう少し大きい声でお話し下さい。テレビやラジオの音量を落として下さい」と伝え、集中して聴くようにしています。日常生活の話をされる掛け手には「いのちの電話にしか話をする人がいないんだ…。近くに誰かいればいのちの電話に掛けることもないのだろうな」と思い「繋がっていますよ。1人じゃないですよ」の気持ちで受けています。

1人1人の掛け手の言葉や背景の音に注意しながら、イメージをふくらませ、電話を取りたいと思います。兄の死をきっかけに「どう生きて行くのか」を真剣に考えて、少しでもいのちの電話に関わっていけたらいいな…。と思います。

Cさん (31期生)

2年間の研修で学びながらも実際は難しいことばかりです。先日、掛け手の中にある“怒り”について考えさせられた電話がありました。「あなたは余計なひとことを言った、そのひとことを言わなければ…。あなたはいつも余計なひとことを言う人でしょう」と言われ、そうかもしれないと悔いる思いでした。振り返ると、心理的苦痛を切羽詰まったストレスと受け止め、掛け手に積み重なっていたであろうと思われる様々な怒りに気づけなかった私でした。穏やかに傾聴し、沈黙でよかったものの、口をはさみ、話の腰を折ってしまいました。リピートもできていなかったと思います。苦痛や孤独感を気遣うことを忘れては、折角繋がった電話から、飛躍して怒りが高まり、衝動に繋がりがかねない危機感を覚えました。今後いろいろな電話があると思いますが、相談員になっての責任、耳元でゆっくり、そっと優しく、丁寧に語りかけることを忘れずに、真正面から当番につきたいと思っています。

Dさん (31期生)

2年間の研修を終えて、相談員になることができました。自分に本当にできるのだろうかと不安と戸惑いの気持ちでした。認定していただき新たな気持ちで、「さあ、がんばるぞ」と4月を迎えたその時震災に見舞われました。事務局も被災され、受信が停止したとき、頭に浮かんだのは電話をかけてこられる人たちのことでした。然るべき避難や介護の手が届いているのだろうか。私も被災し、車中泊を余儀なくされ、実家は半壊となり、高齢の母を引き取りました。

今は少しずつ日常の生活に戻りつつあり、ありがたさを感じています。しかし、この非日常の日々をどう過ごしてきたのか思い出すことができません。生きる希望、生きる意欲を無くした人がたくさんおられるのではないかと思います。この震災で無くしたものも多かったけど、たくさんの人の手で支えてもらい、人の優しさ、温かさに触れ、心まで被災せずすみしました。この経験を栄養にかえて、生きづらい人たちの心の支えになりたいと思います。

養成講座 事前説明会を開きました

平成28年度の電話相談員養成講座の開講に先立ち、3月11、12、13日の3日間、事前説明会を開催しました。（熊本市民会館・2階会議室）

受講者の募集は毎年行っていますが、問い合わせのお電話を頂いても実際の応募にはつながらないというケースが少なくない、という悩ましい状態が続いていました。そこで、講座内容と「いのちの電話」の活動について事前にお伝えし、応募につながる興味を持っていただきたいと考え、事前説明会を初めて企画しました。

マスメディアや各自治体の広報誌等にも周知活動にご協力をいただいたおかげで、3日間を通して40名を超える方が参加して下さいました。

会場では、まず「いのちの電話活動の歴史と現在」のDVDをご覧いただき、養成講座の詳細についてご説明をしました。「以前から興味はあったが一步踏み出す機会がつかめなかった」という声や、「講座の日程が分かったので、勤務時間との調整ができるか考えてみる」と話して下さい方もありました。個々のご質問に直接対応できたのも事前説明会ならではのメリットでした。

後日蓋を開けると、説明会参加者のうち16名の方が養成講座開講式に臨んでおられました！次回来年度も、この事前説明会を開催したいと思います。

第33期生 電話相談員 養成講座スタート!!

第33期電話相談員養成講座の開講式が去る5月10日（火）熊本YMCAにおいて、福田理事長をはじめ各役員臨席のもと開催されました。

26名の受講生を迎えて、福田理事長からの挨拶の後、早速第1回目の講座が始まり、講義の冒頭、講義担当の池田研修副委員長が、「熊本地震の影響で受講生の皆様から受講取り消しがあるのではと心配したが、「逆にこんな時だからこそボランティアを目指したい」との受講動機に感動した。2年に亘っての講座と実地研修に力が発揮できるよう支えて行きたい。」と話がありました。

その後“いのちの電話の歴史と現状”と題し講義が始まり、いのちの電話の成り立ちや役目、相談員としての心得などが話されました。全国51のセンター中24時間眠らぬダイヤルとして活動しているのは、熊本を含め23センター。ここ数年、自死数が減少しているが、これには「いのちの電話」の活動が寄与しているのではないかと考えている。2年という長丁場ではあるが、これからの「いのちの電話」の担い手として、期待しています。と締め括られました。



熊本大学 村山伸樹先生からご寄付

かねてより熊本いのちの電話へご支援をいただいていた熊本大学前工学部長の村山伸樹先生の退官記念祝賀会が、7月2日ホテルキャッスルにて盛大に開催されました。クライマックスの記念品贈呈の時、突然熊本いのちの電話についてお話をされ、「記念品代の中から寄付をしたい」と会場に同意を求められると満場の拍手。サプライズの目録贈呈に、目頭を熱くしてお礼を述べて参りました。（事務局長 赤星 記）



自殺白書

平成28年3月18日作成の「参考図表」(内閣府自殺対策推進室、警察庁生活安全局生活安全企画課)から警察庁の自殺統計に基づく自殺者数の推移を紹介します。

「自殺者数の年次推移」を示します。平成27年の自殺者数は24,025人となり、対前年比1,402人(約5.5%)減。平成10年以来、14年連続して3万人を超える状況が続いていましたが、18年ぶりに2万5,000人を下回りました。男女別に見ると、男性は6年連続、女性は4年連続で減少し、男性の自殺者は、女性の約2.3倍となっています。

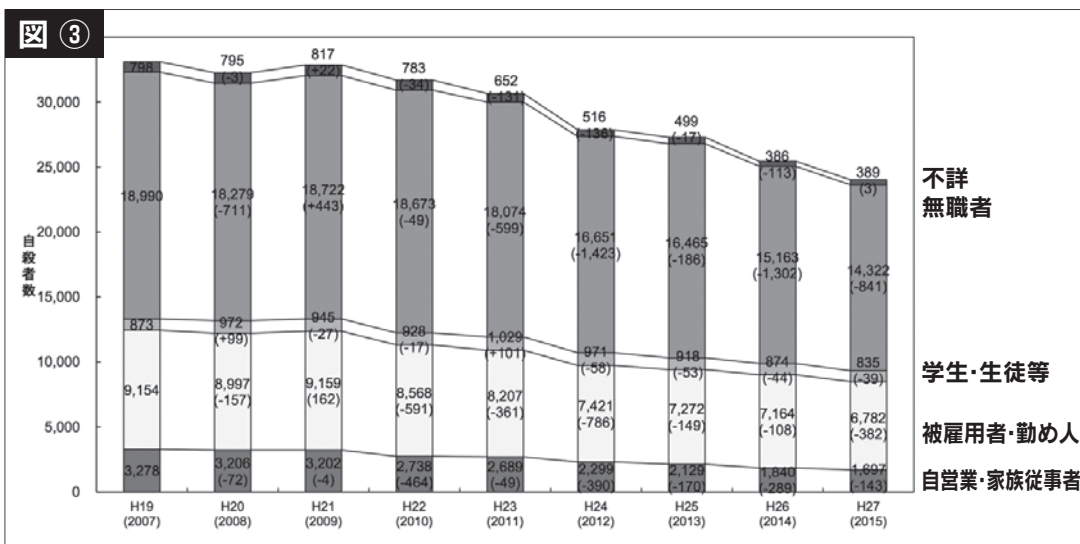
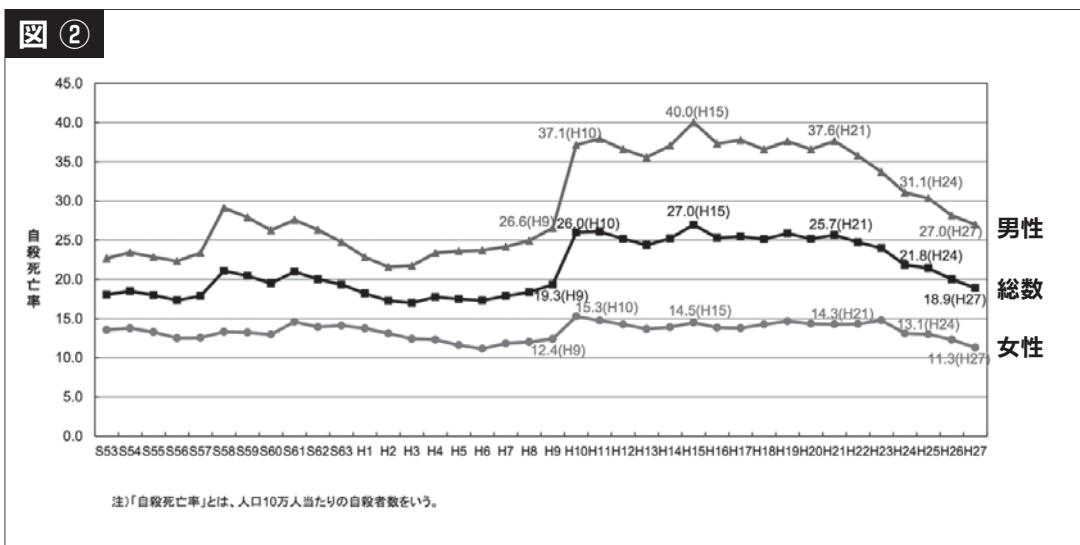
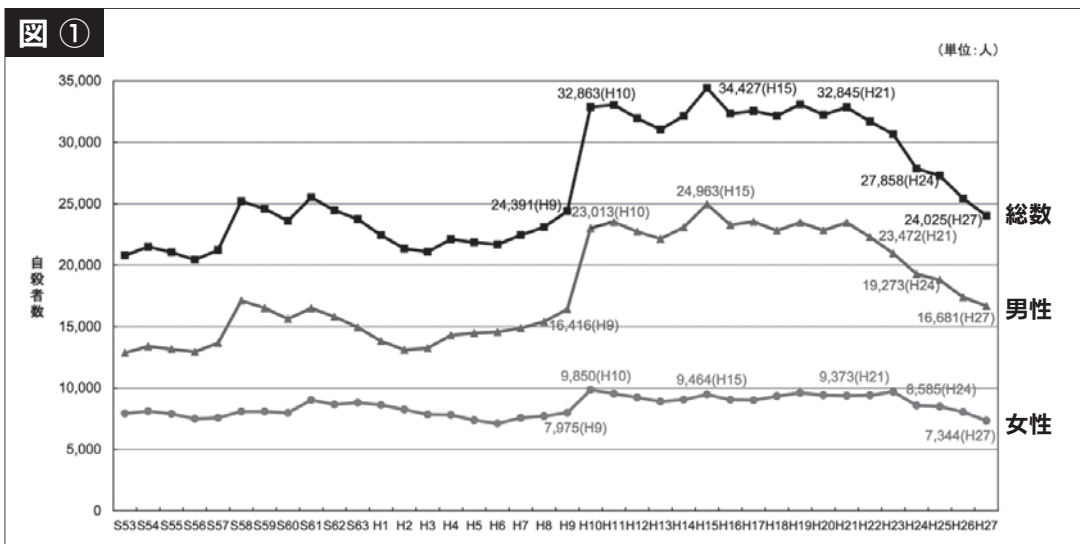
【図①】

「総数及び男女別自殺死亡率の年次推移」を示します。平成21年以降低下が続いており、平成27年も前年より低下しました。男女別に見ると、男性は6年連続、女性は4年連続で低下し、男性は、女性の約2.4倍となっています。

【図②】

「職業別自殺者数の年次推移」を示します。自営業・家族従業者は8年連続、被雇用者・勤め人及び無職者は6年連続、学生・生徒等は4年連続で減少しました。平成27年は26年と比較して、無職者が最も大きく減少し、841人の減少となりました。

【図③】



社会福祉法人 熊本いのちの電話
平成28年度

役員名簿

平成28年度の役員のご紹介です。

理事会・評議委員会の会議出席をはじめとして今後の、維持会員の拡大、広報について、また、チャリティ事業の協力等、様々な分野を担当して頂いています。

2016年6月(平成28年度)

役 職	氏 名	勤務先・職業	役 職	氏 名	勤務先・職業
理事長・評議員	福田 綱	医療法人社団愛育会 福田病院 理事長	評議員	出田 信行	大熊本証券 代表取締役社長
副理事長兼事務局長	赤星 敦	株式会社 SYSKEN 相談役	評議員	西嶋 公一	オフィス・ムジカ 代表
副理事長兼研修委員長	後藤 秀昭	九州看護福祉大学社会福祉学科 准教授	評議員	日野 充裕	熊本YMCA学院 東部校舎館長
常務理事・評議員	池田 幸藏	池田事務所 所長	評議員	元田 克秋	(一社)全国労働保険事務組合連合会 熊本支部会長
理事・評議員	大橋 善治	(名)大橋時計店 代表社員	評議員	吉村圭四郎	瑞鷹(株) 代表取締役副社長
理事・評議員	大村 豊	大村豊法律事務所 所長 弁護士	評議員	悦 正治	熊本第一信用金庫 相談役
理事・評議員	中村 孝彦	中村孝彦税理士事務所 税理士	評議員	井原 宏	熊本トヨタ自動車(株) 専務取締役
理事・評議員	久野 啓介	前 熊本地名研究会 会長	評議員	古荘 文子	古荘土地有限会社 代表取締役
理事・評議員	小笠原嘉祐	特定医療法人社団ビネル会 ビネル記念病院 理事長	評議員	浦川 務	カトリック健康教会 神父
理事・評議員	岡 成也	熊本YMCA 総理事	評議員	榊 政彦	(株)エービーシー 社長 広報委員長
監 事	堤 弘雄	一般社団法人夢ネットはちどり 代表理事 / 法務省 人権擁護委員	評議員	河村 修二	熊本いのちの電話相談員会会長
監 事	松本 泰彰	西日本電信電話(株)熊本支店 企画総務部長			

電話相談 ボランティアの お誘い

あなたの「声」を「熊本いのちの電話」のボランティアに生かしてみませんか。顔の見えない相談者の苦しみ、悲しみに、あなたの手のぬくもりを「声」に添えて届ける仲間になりませんか。詳しくは事務局にお問い合わせ下さい。

いのちの電話に皆さまのご支援をおねがいいたします

(維持会費・賛助会費という形で、どなたでもいつでもご支援いただけます。)
※「社会福祉法人 熊本いのちの電話」への寄付には、税法上の寄付金控除が受けられます。

(イ)維持会費

個人会費 A…年額5,000円 B…年額3,000円 C…年額2,000円
法人会費 A…年額50,000円 B…年額30,000円 C…年額10,000円

(ロ)賛助会費 金額は随意です。

振込先

口座名/社会福祉法人 熊本いのちの電話

郵便振替 01910-8-11836

銀行振込

肥後銀行 水道町支店 (普)1271746
熊本銀行 下通支店 (普)2122553
熊本第一信用金庫 本店 (普)1202685

編集 後記

熊本地震。被災体験。喪失体験。心傷体験。被災後、多くの支援があり、復興の兆しが、この短期間の間を通り過ぎ、日常に戻っているところもあるが、まだ行き届かず、不便な日常の中で過ごす人も多い。ここに負った傷が表出してくるのはこれから。そんな人たちに寄り添う為に、私たち相談員も自分の日常の確保と、こころの健康を取り戻す必要がある。私たちの復興は、相談電話をかけてこられる方々の為に相談活動を続けるために、できることから少しずつ取り組んでいくことなのだと思う。

事務局日誌

平成28年 4月～7月

28年 4月	7日	定例研修委員会
	12日	共同募金会配分式
	19日	熊本地震のため受信中止
	22日	15時転送開始
5月	10日	第33期電話相談員養成講座開講式
	13日	定例運営委員会
	24日	熊本での受信再開
	25日	理事会・評議員会
	27日	定期総会・全国事務局長会議
6月	2日	定例研修委員会
	10日	定例運営委員会
	13日	「熊本地震いのちの電話」支援の調印式 チャイルド・ファンド・ジャパン
	19日	開局31年記念会・認定式 全体研修会
7月	1日	「熊本地震いのちの電話」フリーダイヤル受信開始

毎月10日 フリーダイヤル(08:00～11日08:00まで)



社会福祉法人 熊本いのちの電話 事務局

〒860-8691 熊本中央郵便局私書箱155号
TEL096-354-4343

発行人:福田 綱 編集:広報委員会

熊本いのちの電話

検索

赤い羽根共同募金配分金により作成したものです。